2023年11月10日

各　位

新生企業投資株式会社

新生インパクト投資株式会社による、国際的な「インパクト・マネジメント運用原則」署名機関としての開示報告書および独立検証結果の公表について

当社が出資する新生インパクト投資株式会社（東京都中央区、代表取締役　黄 春梅、高塚 清佳、以下「新生インパクト」）は、2022 年 12 月に国際的なインパクト・マネジメント運用原則（Operating Principles for Impact Management、以下「Impact Principles」）へ署名いたしました。この度、署名機関として、一般財団法人社会変革推進財団（東京都港区、理事長 大野修一）と共同運営する日本インパクト投資 2 号投資事業有限責任組合（以下、「はたらく FUND」もしくは「当ファンド」）を対象資産とする「開示報告書」を、第三者機関による独立検証結果と併せて公表いたします※1。

Impact Principles は、インパクト投資家を対象とする、投資ライフサイクルにおいて創出したインパクトの測定・マネジメントのために設計された国際的な運用原則です※2。2023 年 10 月 31 日現在、世界 40 か国、178 機関（対象資産額 5,205 億米ドル）が署名しています。新生インパクトは 5 番目の国内署名機関であり、未上場企業を対象とするインパクト投資ファンドの運営者としては、同月に署名した一般財団法人社会変革推進財団（理事長：大野修一、東京都港区、以下「SIIF」）と共に国内初でした。

SBI グループは創業以来、「企業は社会の一構成要素であり、社会に帰属しているからこそ存続できる」という変わらぬ考えのもと、社会の維持・発展に貢献することを目指しています。投融資を通じたインパクトの創出を重視しており、2017 年 1 月に、現 SBI 新生銀行グループとして、邦銀グループが運営する初のインパクト投資※3 ファンドとして、国内の子育て関連事業へのインパクト投資を行う「日本インパクト投資 1 号ファンド」（通称「子育て支援ファンド」）を設立し、以来、インパクト投資の実践に取り組んでいます。2019 年 6 月には、多数の機関投資家さまをお招きし、後継ファンドである「日本インパクト投資 2 号ファンド」（通称「はたらく FUND」）を設立し、「子育て・介護・新しい働き方関連事業」を投資対象とし、投資先事業者の成長支援や社会的インパクトの拡大を目指しています。

今回の報告書の作成ならびに独立機関 BlueMark による検証を通じ、世界基準のインパクト投資ファンドの実態と先進事例に照らし、新生インパクトの運営の強みと改善点が明確になりました。これまで、インパクト測定・マネジメント（以下、「IMM」）※4 の型化と再現性の向上を目指し手探りで実務を切り拓いてまいりましたが、ファンドの設計・案件検討プロセス・投資家貢献の観点において一定のご評価を得ることができました。他方、プロセスのドキュメント化等の形式面での整備などには課題が残りました。検証結果を踏まえ、新生インパクトでは既に改善に向けた取り組みを開始しており、さらなる日本の IMM 実務の底上げと共に、これをマーケットプレイヤーの皆さまに還元すべく取り組んでまいります。

日本国内ではインパクト投資残高が約 5 兆 8,480 億円※5 に達し、多数の金融機関がインパクト投資に参入する中、IMM の手法の高度化と普及は重要な課題の 1 つと認識しています。引き続きインパクト投資ファンドとして国際基準の IMM を意識し実施していくと共に、更に開発が進む IMM のグローバルな議論の場に積極的に参画し、日本の一角からインパクト投資のエコシステム構築を牽引してまいります。

※1 新生インパクトによる開示報告書（https://www.shinsei-ci.com/file/230831_jp.pdf）および独立検証結果（https://www.shinsei-ci.com/file/verifier-statement.pdf）
※2 Global Impact Investing Network が事務局として運営。「戦略上の意図」、「組成とストラクチャリング」、「ポートフォリオマネジメント」、「エグジット時のインパクト」、「独立した検証」の 5 つの分類内に計 9 つの原則がある（https://www.impactprinciples.org/9-principles）。

※3 経済的なリターンと社会・環境的なリターンの両立を目指す投資
※4 社会的インパクト評価を経営の PDCA サイクルに取り込み、マネジメントに活かすこと
※5 GSG 国内諮問委員会「日本におけるインパクト投資の現状と課題－2022 年度調査－」

【BlueMark の概要】

名　称	：	Tideline Verification Services, Inc.　（BlueMark は商標）
設立日	：	2020 年 1 月
代表者	：	Christina Leijonhufvud (CEO, BlueMark & Co-Founder, Tideline)
本社所在地	：	New York, U.S.A.
事業内容	：	インパクト投資関連の検証業務
URL	：	https://bluemarktideline.com/

【新生インパクトの概要】

名　称	：	新生インパクト投資株式会社
設立日	：	2019 年 6 月 28 日
代表者	：	黄（尾﨑） 春梅、高塚（宮部） 清佳（共同代表）
本社所在地	：	東京都中央区
事業内容	：	投資事業有限責任組合・有限責任事業組合への出資・組成・運営に関する業務
URL	：	https://www.shinsei-ci.com/impact-investment/（新生企業投資サイト内）

以　上

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：
SBI ホールディングス株式会社　コーポレート・コミュニケーション部　03-6229-0126